

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	全学科						
科目名	教育行政学						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	教職必修						
担当者	永添 祥多						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育制度の歴史的変遷について理解し、その大要を説明できる。</li> <li>・文部科学省や教育委員会の組織や運営について、その大要を理解し、説明できる。</li> <li>・教育行政に係わる重要な答申を行った臨時教育審議会や中央教育審議会について、その役割を理解できる。</li> <li>・中等教育制度の歴史的変遷や大要について理解し、説明できる。</li> </ul>						
日程と内容	第1回 : 導入講義:授業の進め方と概要の説明、成績評価について 第2回 : 教育行政とは、教育行政の原則 第3回 : 戦前の教育制度 第4回 : 戦後の教育制度改革 その1 第5回 : 戦後の教育制度改革 その2 第6回 : 臨時教育審議会とは 第7回 : 中央教育審議会とは 第8回 : 中央教育行政の組織と機能～文部科学省について 第9回 : 地方教育行政の組織と機能～教育委員会について 第10回 : 現在の教育制度改革問題 第11回 : 中等教育制度 その1 第12回 : 中等教育制度 その2 第13回 : 高校教育制度改革について 第14回 : 学校評価制度・教職員評価制度について 第15回 : まとめ						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	30%	計				
授業到達目標の達成度	授業の全体的評価の平均値が9.3であったことから、上記到達目標は、おおむね達成できたと考える。						
反省点	受講生に予習や復習をさせるような工夫が今後必要であると考えます。						
来年度の計画	単なる講義形式ではなく質疑応答を積極的に取り入れていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	全体的評価の平均値が9.3であり、ほとんどの受講生が肯定的に授業を評価してくれていると考える。しかし、この評価に満足することなくさらなる授業改善に取り組むたい。						
履修登録者数	32名	定期試験 受験者数	30名	合格者数	30名	合格率	100%